

「人財社会」

職業能力開発局総務課長補佐 平嶋 壮州

職業能力開発局？

「職業能力開発」と聞いてどのようなイメージをお持ちでしょうか？

働く人一人一人に能力を高めてもらって、それをその後の仕事に活かすことは、本人のためになるのはもちろんのこと、社会全体にもプラスになることなので、これを支援しましょうという仕事です。また、能力開発と言っても、①企業がその従業員に施す訓練、②労働者がテーマを見つけて〇〇学校に通って自分をレベルアップするもの、③そのような対応が難しいものについて公共で行う



●国際会議で意見を述べる筆者（寝ているわけではありません。）

訓練等様々ですが、このいずれにも関わっています。

今、何が問題ですか？

何といても若者問題。新卒の就職戦線は随分改善していますが、いわゆる「就職氷河期」に満足のいく就職ができず、不本意ながら長くフリーターをしている人（「年長フリーター」と呼んでいます。）は、なかなか能力開発の機会に恵まれず、正社員を目指しても難しい状況があります。こういう人のための訓練カリキュラムの開発や企業での実習を取り入れた訓練などに取り組んでいます。

また、「2007年問題」という言葉を聞いたことがある方もいるかもしれません。今年は1947年、ベビーブームが始まった年に生まれた人が60歳に到達する年です。これまで我が国の成長を支えてきた「技能」、これを次の世代に円滑に継承していくことが大事です。このため、技能継承のため

の相談を受けたり、意識啓発のための取組を行ったりしています。今年11月に静岡県で開催する「2007年ユニバーサル技能五輪国際大会」もこうした取組の一つです。

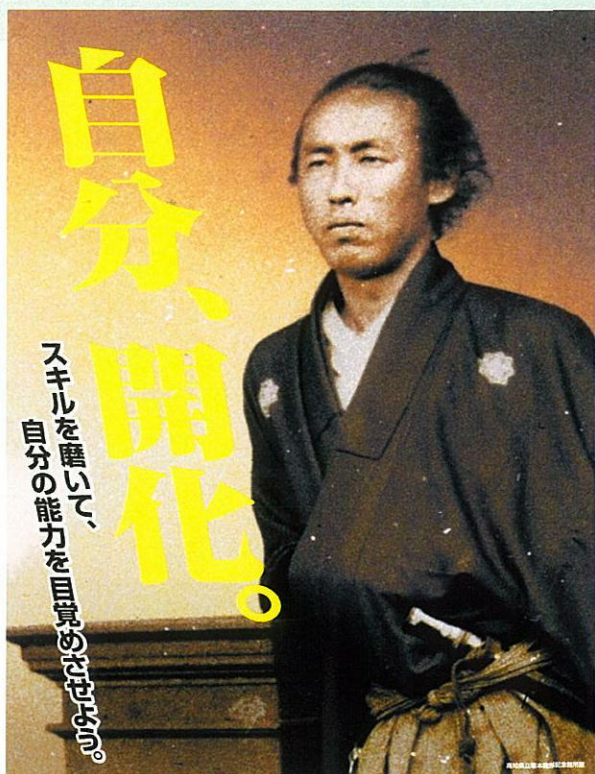
能力開発の施策は、未来志向で国民が何を望んでいるのかを常に考えながらやる非常に面白い仕事です。柔軟な発想とやる気を持った皆さんをお待ちしています!!



●ユニバーサル技能五輪国際大会ポスター



●人材養成ポスター



スキルを磨いて、自分の能力を自覚させよう。

あなたのキャリア形成を応援します。

厚生労働省 都道府県 独立行政法人雇用・能力開発機構 職業能力開発協会

●局イメージポスター

